株式会社
ソフト99コーポレーション

第71期 中間報告書 2024年4月1日 ▶ 2024年9月30日

証券コード 4464

『生活文化創造企業』の経営理念のもと、更なる成長を目指します。

代表取締役社長 田中 秀明

当中間連結会計期間業績についてのご報告

平素より当社グループの事業活動に格段のご理解、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。当中間連結会計期間におきましては、不安定な国際情勢や円安などを背景としたエネルギー・原材料価格の継続的な上昇によって賃金を上回る物価の上昇がみられることから景気の先行きは予断を許さないものの、社会活動の正常化による個人消費の回復やインバウンド需要の増加により、経済活動は緩やかな回復基調にあります。

当社グループにおきましても、ファインケミカル事業の主要得意先である小売業界では、気温の高い日が続いたことから季節商品の販売や、防災意識の高まりから防災関連商品の販売が好調に推移いたしました。しかしながら、ファインケミカル事業の一般消費者向け販売では、酷暑による洗車機会の減少や、前期に足回り関連の出荷が好調だった反動を受けてボディケア製品の販売が低調に推移しました。また、ロシア向け他社製品販売から撤退したことから、海外向け販売全体でも低調に推移しました。

また、ポーラスマテリアル事業の主要用途である半導体関連では、世界的な生成AIの急速な普及に伴い、ロジック半導体向けやHBM向けの需要が継続しています。その結果、ポーラスマテリアル事業の半導体向けでは、主に韓国や台湾など海外向けの出荷が好調に推移しました。

このような中、当社グループは第7次中期経営計画「Evolve!!」の2年目を迎え、販売・開発の両面で様々な取り組みを進めてまいりました。その結果、当中間連結会計期間の実績においては、前期実績に対して売上高がやや下回る形で推移したものの、営業利益は上回る進捗で推移しております。

株主の皆さまへ

当社は、配当方針として「安定的・継続的な配当」を基本としており、株主還元につきましては「連結営業利益25%」を目安としております。

中間配当につきましては、期初の予想から50銭増配の1株当たり21.5円とさせていただきました。期末配当につきましても、同じく期初予想より50銭増配の1株当たり21.5円を想定しております。

今後とも当社グループは、「生活文化創造企業」の経営理念のもと、日々のくらしに役立つ新たな生活様式の創出を目指し、事業活動に取り組んでまいります。株主の皆さまにおかれましては、今後ともご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

Topics グループ一丸となり、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進しております

当社グループでは、中期経営計画において定めております通り、企業価値の向上と社会的意義の両立を目指し、持続可能な社会の実現に向け、各事業が社会に提供する製品やサービスの価値を高めることで、社会課題の解決に資する事業運営を推進しております。

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）においても、当社グループの事業推進の方向性と共にする部分も多いことから、豊かなクルマ社会の実現に向けた各社の取り組みを、「TEAM EXPO 2025」プログラム／共創チャレンジへの登録や、サプライヤーとして協賛も行っております。

当社グループでは、全ステークホルダーの皆さまのより良い暮らし実現のため、成長のあゆみを着実に進め、生活文化創造企業として、未来の“あたりまえ”を発見していきたいと考えております。

TEAM EXPO 2025 いどもう。みらいに。“共創チャレンジ”

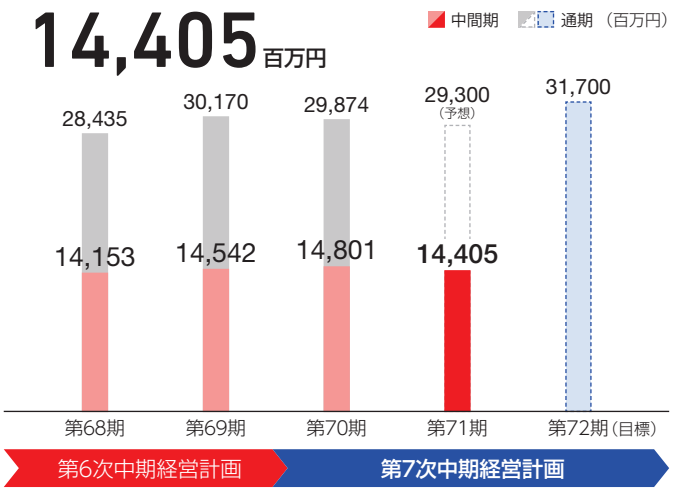
▲CO_2センサー

▲サモコンクール

連結財務ハイライト

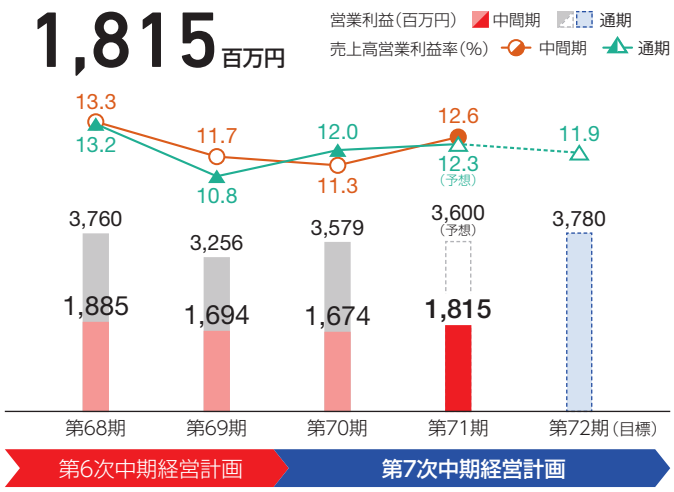
売上高

14,405百万円



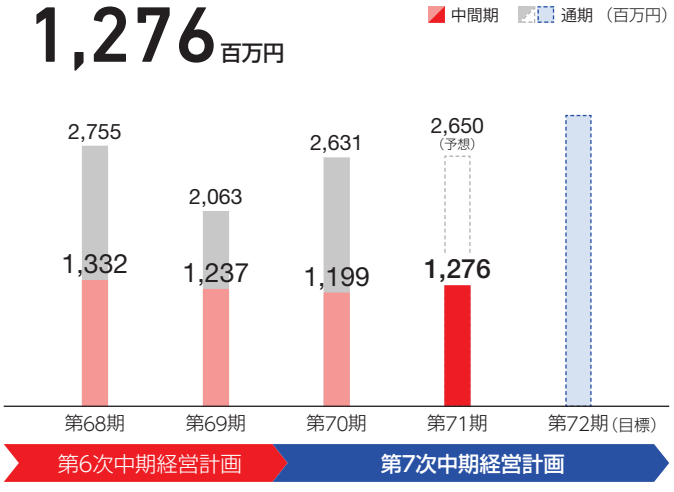
営業利益・売上高営業利益率

1,815百万円



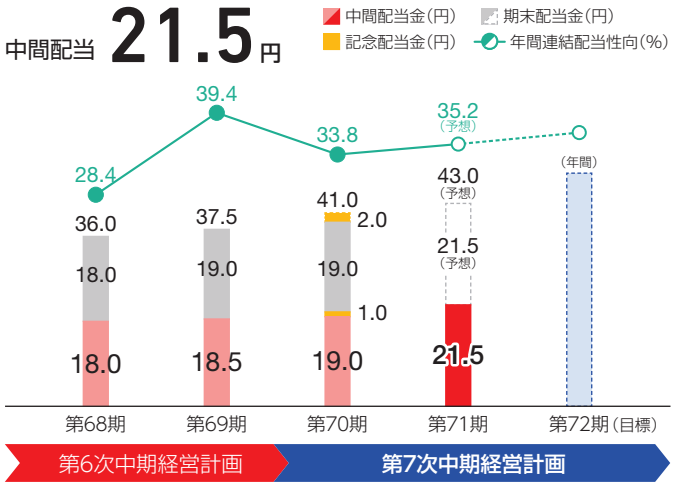
親会社株主に帰属する中間（当期）純利益

1,276百万円



1株当たり配当金・配当性向

中間配当 21.5円



第7次中期経営計画について

当社グループは、2023年4月より第7次中期経営計画「Evolve!!」をスタートいたしました。本中期経営計画においては、近年企業に対する社会課題の解決への要請が高まる中で、その課題解決に資する施策の実行に取り組むことにより、更なる事業領域の拡張を目指し、本中期経営計画の目標達成に向けて事業活動を推進してまいります。

経営理念

生活文化創造企業

～未来の"あたりまえ"を発見する～

●当社普遍の経営理念として第3次中期経営計画より継続

テーマ

Evolve!! ～進化せよ!!～

※evolve:（徐々に）進化する。発展させる。発達させる。

経営ビジョン

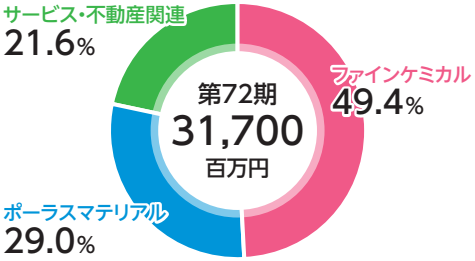
デジタルを活用し、心揺さぶられるアナログ的（エモい）価値を創り出す『ヒト（人財）』を育て、その価値を通して社会課題の解決に貢献する。

デジタルの活用などを通して
『共感』という<u>ヒトでしか創り出せない価値</u>を提供し
ソフト99グループ『Evolve』につなげる。

最終年度目標（第72期：2026年3月期）

	第71期（予想）	第72期（目標）
連結売上高（百万円）	29,300	31,700
連結営業利益（百万円）	3,600	3,780

セグメント別売上高構成比



セグメント別主要事業の概況

自動車分野　産業分野　生活分野

ファインケミカル　Fine Chemical

売上高 6,651百万円　前年同期比 9.6%減　営業利益 877百万円　前年同期比 7.0%減

一般消費者向け販売

- ボディケア製品は、新製品の出荷は好調に推移したものの、気温の高い日が続き洗車機会が減少したことや、前期に足回り関連の出荷が好調だった反動を受けて減少。
- ガラスケア製品は、撥水剤での価格改定に伴う単価上昇や、ワイパー製品で店頭キャンペーンを強化したことなどにより好調に推移。
- リペア製品は、商流の変更に伴う一時的な販売減少があった前期に対して、今期は得意先への販売が堅調に推移したことや、価格改定の実施により好調に推移。

▲ALAUNENシリーズ

業務用製品販売

- 新車向けの製品販売は、キャンペーン強化によって当社ブランドの業務用コーティング製品の出荷が好調に推移。OEM製品では、新車販売の低迷に伴い販売が減少したことで減少。
- 中古車向け製品販売は、中古車販売が好調だったことや、得意先で高付加価値製品を使用した施行機会が増加したことで好調に推移。

海外向け販売

- 中国では、代理店によるプロモーションが奏功しガラスケア製品が好調に推移したことで、当社製品の出荷は好調。
- 欧州エリアでは、SNSプロモーションが奏功しボディケア製品やガラスケア製品の出荷が好調に推移。
- 南米エリアでは、主要仕向け地であるブラジルでSNSプロモーションが奏功し、ボディケア製品やガラスケア製品の出荷が好調。
- 海外向け販売全体では、ロシア向け他社製品の仲介取引から撤退したことから減少。

家庭用製品販売

- メガネケア製品では、くもり止め製品におけるマスクの着用意識の低下や関連商材売り場縮小があったものの、「メガネのシャンプー」の売り場展開強化や新規獲得などに注力したことで、好調に推移。また、スポーツサイクル向けのコーティング剤の製品展開を開始。

ポーラスマテリアル　Porous Materials

売上高 4,306百万円　前年同期比 6.1%増　営業利益 689百万円　前年同期比 40.2%増

産業資材部門

- 海外向け販売は、生成AIに関連する半導体向けにおいて韓国や台湾での需要が継続していることから、好調に推移。
- 国内向け販売は、主力の半導体向けの好調をはじめとして、フィルター及びプリンター用途、環境用途も堅調に推移。また、HDD向けは前期に得意先での生産調整があったものの、生成AIの普及によるデータセンターへの投資増加に伴い需要が高まったことで好調。
- 医療向け販売は、低調であったシート関連製品の出荷が下げ止まり傾向にあることや、新規開拓を強化したことにより出荷が好調。

▲砥石

生活資材部門

- 国内向け販売は、主力である消費者向け車用製品の需要が低調であったことや、新車販売の低迷に伴い自動車向けOEM製品の出荷が減少。また、家庭用製品においても前期末の大量出荷の影響から需要が落ち着いたことにより、低調に推移。
- 海外向け販売は、主力仕向け地である米国で急激なインフレによる消費停滞の影響から在庫調整が継続し、販売が減少。

サービス・不動産関連　Service・Real Estate

売上高 3,447百万円　前年同期比 1.7%増　営業利益 243百万円　前年同期比 3.8%増

自動車整備・鈑金事業

- 人件費などの経費高騰に伴いレバレートアップなどの取り組み強化や分業化による適正な工賃単価確保に努め、各メーカーの認証取得も積極的に進めた結果、適正な単価確保や入庫台数維持につながったことで好調に推移。また、自動車用プロテクションフィルムにかかる施工・物販も好調。

▲美装作業

自動車教習事業

- 入所者数は前期をやや下回る形で推移しているものの、講習や職業用免許が好調に推移したことによって好調。

生活用品企画販売事業

- 生協向けにおける採用数が減少傾向にあったものの、全体的な単価上昇によって好調。

不動産関連

- 不動産賃貸事業では保有物件において安定的に稼働。また、温浴事業では利用者数や店内での飲食利用が増加傾向にあるものの、IRやインバウンド向けの新施設建設のために前期末で3店舗中1店舗を閉店したことにより減少。介護予防支援事業では、積極的な営業活動により登録者が増加したことや、平均利用者数がコロナ禍以前の水準まで回復するなど好調に推移。

各詳細につきましては、
当社ウェブサイトをご覧ください。
https://www.soft99.co.jp

株主・投資家情報　サステナビリティ

会社の概要（2024年9月30日現在）

商　　号	株式会社ソフト99コーポレーション
設　　立	1954年10月28日
本　　社	大阪市中央区谷町2丁目6番5号
資 本 金	2,310,056,000円
従業員数	206名
事業内容	自動車・家庭用品・産業用ケミカル用品の製造販売事業

役員（2024年9月30日現在）

代表取締役社長	田中　秀明
常務取締役	小西　紀行
取締役	上尾　茂
取締役	石居　誠
取締役	宮園　哲哉
取締役	田中　一成
取締役	生駒　英昭
取締役（社外）※	井原　慶子
取締役（社外）※	藤井　美保代
常勤監査役	福井　健司
監査役（社外）※	平井　康博
監査役（社外）※	樋口　秀明

※上記4名の役員は、株式会社東京証券取引所に独立役員として届け出ております。

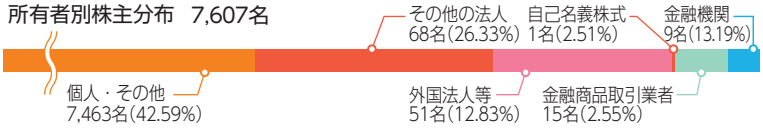
株式の状況（2024年9月30日現在）

発行可能株式総数	発行済株式総数	株主数（自己名義を含む）
60,000,000株	22,274,688株	7,607名

大株主（2024年9月30日現在）

株主名	持株数	持株比率
サントレード株式会社	3,246,528 株	14.95 %
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,574,000	7.25
MIKIKO SUZUKI	1,492,656	6.87
MSIPCLIENTSECURITIES	1,436,000	6.61
株式会社エイチエーエス	835,000	3.85
株式会社三菱UFJ銀行	799,200	3.68
田中　秀明	661,976	3.05
ソフト99従業員持株会	658,680	3.03
公益財団法人ナインティナイン・アジア留学生奨学基金	603,720	2.78
田中　佐世子	594,192	2.74

※持株比率は、自己株式数（559,505株）を控除して計算しております。
なお、自己株式数には「従業員持株会支援信託ESOP」に係る信託口（株式会社日本カストディ銀行（信託口））が保有する当社株式は含めておりません。



株主様向け工場見学開催

日　程　2025年3月12日、4月16日、5月14日
見学場所　三田工場
対 象 者　当社株式100株以上所有の株主様（同伴者は小学生以上1名まで）

お問い合わせ先
人事総務部　TEL 06-6942-8761

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで		
期末配当金受領株主確定日	3月31日	中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月	単元株式数	100株
株主名簿管理人特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120−094−777（通話料無料）		
公告方法	電子公告 ウェブサイト：https://www.soft99.co.jp/ir/koukoku.html 電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。 ※ 当社の貸借対照表、損益計算書はEDINET（金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム）にて開示しております。		
上場金融商品取引所	株式会社東京証券取引所スタンダード市場（証券コード：4464）		

（ご注意）
1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。